

ヘリコバクター・ピロリ除菌療法を 受けられる患者さんへ

1回分として、2種類の抗生物質と胃酸の分泌を抑える薬の3剤を服用してください。

1日2回（朝・夕）、7日間続けて服用してください。
この治療法はこれらの薬を主治医の指示どおりに正しくのみ続けることが重要です。
服用中は、以下の点にご注意ください。

- これらの薬をのむと軟便、下痢などの消化器症状や味覚異常などを起こすことがあります。
軟便や下痢、あるいは味覚異常が起こった場合、症状に応じて次のようにしてください。

軟便、軽い下痢又は味覚異常の場合

自分の判断でのむ量や回数を減らしたりせず、残りの薬を最後まで（7日間）のみ続けてください。
ただし、のみ続けているうちに下痢、味覚異常がひどくなった場合は、主治医又は薬剤師に相談してください。

発熱、腹痛を伴う下痢、あるいは下痢に粘液や血液が混ざっている場合

このような場合には直ちに薬をのむことを中止し、主治医又は薬剤師に連絡してください。

- その他、気になる症状がある場合は主治医又は薬剤師に相談してください。

（裏面もご覧ください。）

ヘリコバクター・ピロリ除菌療法を 受けられる患者さんへ

1回分として、2種類の抗生物質と胃酸の分泌を抑える薬の3剤を服用してください。

1日2回（朝・夕）、7日間続けて服用してください。
この治療法はこれらの薬を主治医の指示どおりに正しくのみ続けることが重要です。
服用中は、以下の点にご注意ください。

- これらの薬をのむと軟便、下痢などの消化器症状や味覚異常などを起こすことがあります。
軟便や下痢、あるいは味覚異常が起こった場合、症状に応じて次のようにしてください。

軟便、軽い下痢又は味覚異常の場合

自分の判断でのむ量や回数を減らしたりせず、残りの薬を最後まで（7日間）のみ続けてください。
ただし、のみ続けているうちに下痢、味覚異常がひどくなった場合は、主治医又は薬剤師に相談してください。

発熱、腹痛を伴う下痢、あるいは下痢に粘液や血液が混ざっている場合

このような場合には直ちに薬をのむことを中止し、主治医又は薬剤師に連絡してください。

- その他、気になる症状がある場合は主治医又は薬剤師に相談してください。

（裏面もご覧ください。）

ヘリコバクター・ピロリ除菌療法とは

胃潰瘍や十二指腸潰瘍が再発する原因の一つに、ヘリコバクター・ピロリという胃内に存在する細菌が関係することが明らかになっています。

2種類の抗生物質と胃酸の分泌を抑える薬を服用することにより、この細菌を取り除く治療を「ヘリコバクター・ピロリ除菌療法」といいます。

- 気になる症状がある場合は主治医又は薬剤師に相談してください。



下痢
(腹痛)



味覚異常



発熱を伴う下痢



下痢
(腹痛)



味覚異常



発熱を伴う下痢